

令和5年度 田無第二中学校 3年生

地域とともにある学校づくり コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 公共施設を考えよう～学校を核としたまちづくり～
(活動名)

ねらい： 未来の理想の学校像を考えるを通して、過ごしやすい環境について考え、行動する生徒を育てる



【7月15日】 導入話し合い

公共施設マネジメント課の方から各地の工夫された学校づくりの例が紹介され、学校などの公共施設建て替えを考える中で子供たちにも考えてもらいたい…ということで、「新しく学校を立て替えるとしたらどんな学校がよいか」をいうテーマで3年生が説明を受けました。

当日は道徳授業地区公開講座・授業参観日ということもあり、保護者の参観もありました。そして、この出前授業では学校建て替えのアイデアを班の話し合い活動で出し合い、班ごとにプレゼンをするまで行いました。西東京市市長の池澤 隆史氏も来てくださり、生徒共に話し合いに参加してくれました。

【7月15日】 意見発表

各班で話し合ったことを発表しました。各班で話し合った内容では、コンセプトとして「きれいに過ごしやすい学校」「Students First」「地域と交流する機会があり、きれいな学校」「二中進化中」「勉強も運動もしやすい学校」等が出され



自分たちの考えや新しい学校づくりに生かされるようにしました。



【12月15日】

自分たちにできることを考える

公共施設マネジメント課から、二中で話し合ったコンセプトを基にしたデザイン画などが届きました。今度はそれを見ながら、自分たちの力でコンセプトを達成するためにできることを話し合い、班ごとに発表しました。多くのことが実行可能で、考え、行動することの大切さを再確認しました。



まとめコラム

【成長の様子】

子供たちは7月15日の授業において、多くの意見を発表し、未来の理想の学校について話し合いました。12月15日の授業では、理想の実現のために中学生として行動すべきことを考え、理想を述べるだけでなく、自分たちで行動することの大切さを学びました。

【担任の感想】

「未来の学校」というテーマを通じて生徒たちは地域とどう関わっていくかについて考えるよい機会になり、生徒達から様々なアイデアが出され、公共施設マネジメント課の方と情報交換をすることができました。どの生徒も積極的に意見を交わしており、学校や地域を良くしたいという強い思いを感じました。